

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和3年2月9日

事業所名 児童発達支援センターおひさま 保護者等数(児童数) 25 回収数 25 割合 100%

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24			1	1部屋あたり、5人程で確保されている。	感染防止と充実した支援を両立させる為に、十分な活動スペースと、少人数単位での支援体制を行っています。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から子どもたちの密接な交流を避けながらも、おひさま内で楽しい雰囲気を作れるよう取り組んでまいります。近隣の公園での活動や、新型コロナウイルスの状況をみながら施設外活動を定期的に取り組んでいます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	24			1	たくさんの職員で対応されている。	事業所としての配置基準は満たし、各専門職の配置もしております。児童発達支援管理責任者や保育士、児童指導員などの資格を持った職員を7名配置しております。また、嘱託医の診察も定期(月2回)に実施しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	22			3	すべて見ていない為、分からない所がある。	生活空間は目的に従って、移動できるよう絵や文字等で表示しております。朝の流れをあえて固定して見通しを持って行動する事ができる様に支援し、ご本人が「できた!」という成功体験が多く重ねられるよう工夫しております。バリアフリー化については、車いすを利用される方が来られてもいように出入口の配慮をしています。また、室内はバリアフリーになっています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	24			1	楽しそうに過ごしています。	常に清掃し、コロナ対策もあり利用の都度消毒をしています。壁面も楽しい絵柄の表示にしています。子ども達の発達・年齢に合わせ、床材につきまちは、今年度マットを敷くなど、さらに安全面に配慮しながら活動しております。今後もさらに安全に活動できるよう検討してまいります。
	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	25				相談員の方と共にアセスメントされて作られている。	個々の状況に合わせた支援計画を作成し、支援内容についても保護者の方に解りやすい説明を心掛けていきます。

適切な支援の提供

6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21			4	個々の支援に必要な「発達支援」「家族支援」「地域支援」の内容は、児童発達支援計画に反映して記しています。
7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	22			3	色々な活動があり、楽しく通っています。支援計画に基づいて、日々の支援・活動を立案・実施しております。
8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	23			2	毎月活動計画を立てる際、話しあいの場を持ち、子ども達の反響が高かった取り組みや、施設外活動・サーキット・リトミック・工作等、固定化されないよう、新しい取り組みを中心に、プログラムを作っております。
9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	20			5	並行通園以外の子どもについては、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、地域交流という形では活動する機会はありませんでした。
10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24			1	利用契約時等に解りやすく説明しております。
11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	24			1	児童発達支援計画はアセスメントを丁寧に行い、課題を抽出し、ニーズに基づいた計画案を提示して説明し同意を得ています。
12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	20			5	今年度は家族会の延期もあり分からない事もある。開催日・参加者計画までは進んでいましたが新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今年度は中止させて頂きました。来年度は、内容・方法につきましても検討しながらすすめてまいります。
13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	23			2	子どもの様子をしっかりと伝えて下さり、相談にも返答していただいている。保護者の方とのお話をする時間を大切にと思い、当日のおさまの様子などをお伝えしております。できるようになった事、芽生え始めたこと、関わり方など共通の認識で進められるようにと個別に対応させていただいております。
14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24			1	保護者会や個別面談、連絡帳や電話でのやり取り、勉強会、医療機関への紹介等行っておりますが、さらに身近にというご意見と賜り、お声がけをさせていただきたいと存じます。

保護者への説明等	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	22			3	今年度1回目の保護者会は新型コロナウイルス感染拡大に伴い書面開催とさせていただきます。2回目は、感染症対策を実施し、少人数で複数回に分けて開催できる取り組みを計画し、保護者間のつながりも持てる機会を設定しております。毎年、保護者会は実施していますが、父母の会結成にまでは至っておりません。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	23			2	日誌にて日頃の困りごとなど相談し、助言と共に支援をして頂いている。 保護者から相談があった場合、その場で納得いただける説明ができるよう心掛けております。相談内容によっては 副施設長、管理者も含め保護者の方と面談の時間を設けております。職員によって対応に違いがでないよう気をつけております。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24			1	今後より多くの保護者の方のご意見やご要望にもっと耳を傾けていきたいと思っております。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	24			1	会報を楽しみにしています。 事業所から保護者へのお知らせに関しまして、随時プリント用紙にてお渡ししております。今年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、感染症対策のお願いを何度かさせていただきました。保護者の皆様には感染症対策などにご理解とご協力をいただきありがとうございました。「おひさま通信」を毎月発行しております。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	23			2	今後も個人情報の取り扱いには十分注意をまいります。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	24			1	訓練が定期的にあるようです。 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者の方に家族会書面開催のお知らせと共に周知致しました。新型コロナウイルス感染症につきましては、県や市の対策に基づき、対応しております。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	24			1	毎月実施しております。「いつ」「どこで」災害が起きても落ち着いて安全な対応ができるよう毎月パターンを変えて訓練をおこなっています。消防局の立ち合いも含めて年2回通報避難訓練を実施しております。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	24			1	入り口ではぐずるが、活動は楽しく参加できている。 今後楽しみに通所していけるように楽しい活動を計画して参ります。
	23	事業所の支援に満足しているか	24			1	園庭が広い方がいいかと迷ったが、通ってみて良かったです。 ありがとうございます。支援の質がさらに向上していくように研鑽して参ります。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。